

七条大橋百周年記念イベント

百年目の橋渡し

1913(大正2)年4月14日、京都市・鴨川の七条大橋の開通式があり、当時の井上市長を先頭に数千の市民が渡初め(わたりぞめ)をしました。

七条大橋は市電を通すために強固に作られたコンクリート橋です。強固だけでなく、のびやかなアーチや繊細な意匠の欄干や照明柱を持つ美しい橋でした。

それから百年、橋は幾多の災害や戦争の時代をくぐり抜け、鴨川を見つめてきました。開通式からちょうど百年目の日に、地域の皆さんや京都の歴史的な景観を愛する皆さんが集い、祝いイベント「百年目の橋渡し」を開催いたします。

どなたでもご参加いただけますので、よろしくご参集お願いいたします。

また、七条大橋や七条通の古い写真をさがしています。ご存じの方はご一報ください。

日時 4月14日(日)

13:00 受付開始

13:30 スライドショー「七条大橋の百年をふりかえる」

14:30 七条大橋「百年目の橋渡し」(町歩きと現地撮影会)

15:30 いったん終了

いったん終了の後に、七条大橋界わいの昔話の会と秋の記念イベントに向けた企画会議をいたします。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

場所 集西楽 **サカタニ** (京阪七条駅から東に徒歩1分ファミリーマート2階)

参加費 一般500円、入会希望者1000円

主催 鴨川を百年見つめる七条大橋とあゆむ会(設立準備会)

お問合せ 075-561-7974 (サカタニ)

